

校是
健全な心身の鍛錬、知の追求、情操の陶冶、豊かな人間性の育成
校訓
明朗進取・自重敬愛・勤勉奉仕

本校の教育目標
1 心身ともに健康で、物事を遂行する不屈の意志と明朗誠実で実行力のある人間を育成する。 2 生活指導を徹底し、学習意欲を高め探究心を喚起し学力の充実をはかるとともに、調和のとれた教養を身につけさせる。 3 自主自律、協調奉仕の精神に徹し、責任を重んじ、規律正しく節度ある生活態度を養う。 4 信頼と敬愛とによる人間関係を確立し、愛校心を高め、郷土愛を養い、もって豊かな人間の育成をはかる。

生徒の実態、教師の願い
素直で真面目、温和で協調性がある生徒が多く、ほとんどの生徒が大学進学を目指している。進路目標の達成に向けた努力の積み重ねの中で、様々なことに挑戦し、主体性と社会性、豊かな人間性を育みたい。

保護者や地域の願い
調和のとれた教養を身につけ、地域のリーダーとなる人材に育ってくれることを望み、期待している。地域の小中学生の模範となるような高校生になって欲しい。

スクールアイデンティティ
積極挑戦し未来を切り開く生徒 ～ 多様な経験から主体性を育む ～

「志教育」の目標
1 明朗誠実で、心身ともに健康な人間を育成する。 2 社会の発展に寄与できるよう調和のとれた教養を身につけさせる。 3 他人を思いやれる、協調奉仕の精神を身につけさせる。

重点指導事項		
人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会の役割を「はたす」
学校内外の様々な人間関係を通して、他人を尊重する心と思いやる心を育成する。クラスや部活動などの活動において、集団で努力することや達成すること経験から、社会性や協調性を養う。	自分の将来のビジョンを具体的に構想させ、主体的な進路達成活動の深化を促す。様々な講演会や社会人講話、クラス討論などを通して、在り方生き方について主体的に探求させ、それに挑戦する態度を育む。	学校内における自分の役割を自覚し、活動することを通して、社会の一員としての自覚を持たせ、社会における自分の役割とそれに取り組む意義を意識させる。

各教育活動における取組の観点	
各教科	学びの大切さや魅力を知ることによって、向上心を持って学習する態度を育成する。様々な基礎的基本的な知識を身につけるとともに、生涯にわたっての自己教育力を高める。
道徳	地域における期待を意識しながら、集団の一員としての責任ある行動を醸成する。奉仕作業をとおして、進んで社会への奉仕し貢献できる人材を育成していく。
総合的な学習の時間	自己表現活動により、建設的に思考しそれを相手に伝える力と、他者の考えを理解する力を育む。また、進路学習や学校外と関わる活動などにより、職業観、社会観を主体的に学び、自律的に考えて行動する資質、態度を身につけていく。
特別活動	部活動、生徒会活動などに積極的に参加することにより、人との関わりを深め、協力しお互いに尊敬しあう態度と、困難な物事に対しても挑戦していく積極性を身につけていく。
その他	挨拶や制服着用、交通安全マナーに対する意識の高揚を図るとともに、それらの活動を通して規律ある生活態度の育成を目指す。

各学年の取組内容例	
1年	①新入生オリエンテーション ②進路講話 ③進路研究 ④大学オープンキャンパスへの参加 ⑤グループ討論 ⑥社会人講話 ⑦ビブリオバトル ⑧ポスターセッション
2年	①大学模擬授業 ②進路講話 ③研修旅行 ④研修旅行事前学習、事後学習（報告会） ⑤グループ討論 ⑥小論文講演会
3年	①大学模擬授業 ②テーマ書籍研究 ③進路講話 ④大学のオープンキャンパスへの参加

家庭との連携
P T A研修会や学校公開、三者面談、学校評価を通じて、情報の共有化と、本校の教育について目標、方法を周知を行い、家庭と学校との協力体制・信頼関係の構築を目指す。

地域・企業との連携
社会人講話や大学模擬授業、また様々な地域でのボランティア活動を通じて、地域からの期待やイメージを知り、地域の一員として自覚ある態度と行動を身につけていく。

平成29年度 宮城県泉高等学校「志教育」年間指導計画

3つの視点		かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす				
各教科指導内容	国語		○	○	地理歴史	○	○	公民		○	数学		○	○	理科		○	○		
	国語を的確に理解し、適切に表現して伝え合う力を高め、思考力や創造力を伸ばし、豊かな心情をもって社会と関わるのできる総合的な言語能力を養う。				自国及び各国の歴史や風土に対する確かな認識を基盤として、様々な場において自己実現が達成できるような資質を養う。				先哲の教えを利用して複雑な現代の社会の仕組みを考察し、他者を尊重し、主体的に社会に貢献しようとする公民的資質を養う。				数学的活動を通して数量や図形の意味を実感を持ってとらえたり、思考力、判断力、表現力を高め、さまざまな場面において論理的な思考ができるようにする。				自然の現象やそのメカニズムについて考察し、科学的な見方や考え方を養い、さまざまな場面において論理的な思考や判断ができるようにする。			
	保健体育	○	○		芸術	○	○	外国語	○		○	家庭	○	○	情報	○	○			
健康・安全について自己意識の向上に努め、生涯にわたって運動に親しみ、全体の安全に配慮することのできる人材を育成する。				感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深めるといった幅広い活動を通して、生涯にわたって芸術を愛好する心情を育てる。				英語を正確に理解し、自分の考えを適切に表現できる力を養うと共に、国際的な視野を持って、持続可能な社会の実現に向けて貢献できる資質を養う。				家族・家庭の意義、家庭と社会の関わりについて考え、生活に必要な知識と技術を習得し、男女が協力して家庭や地域の生活を創造する能力を養う。				情報に関する科学的な見方や考え方を養い、情報化社会のなかでの確かな判断や効果的な活用ができる力を身につける。				
学年共通					かかわる	もどめる	はたす	各学年指導目標												
指導内容	①身だしなみを整える				○	◎	1年	1. 自ら考える姿勢を身につけ、自主的・主体的に適切な判断と行動ができるようになる。 2. 自己の将来につなげた、適切な進路選択を行うことができる力を身につける。 3. 予習、復習、課題提出など、家庭学習の習慣を確立する。 4. 他者との適切な人間関係を築くための基礎的な生活態度を確立する。												
	②挨拶の励行			◎	○	2年		1. 自ら考える姿勢を形成することに努め、自主的・主体的に適切な判断と行動ができるよう促す。 2. 来年度に備え、より現実的に進路選択をできる力を養成するため、情報とその機会を提供する。 3. 計画的・継続的に学習に取り組むよう、習慣的な家庭学習を促す。 4. 進んで挨拶する、他者の話をよく聞く、他者との適切な人間関係を形成する、ルールやマナーの必要性を自覚し尊重するなど、社会人基礎となる生活態度を、中堅学年として自覚させる。												
	③朝学習の徹底化			○	◎			3年	1. 最上級学年としての自覚を持たせ、積極的な行動と責任ある態度を身につけさせる。 2. 基本的な生活習慣を確実に身につけさせ、社会の一員としての自覚を醸成させる。 3. 学習の日常化を図り、より高い知識や見識を身につけようとする姿勢を養う。 4. 自己の夢と志を強く意識させ、進路希望を確実に実現しようとする姿勢を養う。											
	④学習習慣の確立				◎		合計時数		64											
	⑤自己表現力の向上			○	◎															
	⑥校内美化の励行				◎															
	⑦保護者や地域社会との連携			◎																
指導内容					ねらい			指導教科等	実施時期	時数	かかわる	もどめる	はたす							
1年	グループ討論				論理的に思考しそれを他者に伝えたり、他者の意見を客観的に聴くという活動から、自己表現力や論理的思考力を身につける。				総学	4～9月	7	○	○	◎						
	オープンキャンパス参加				実際に大学に足を運ぶことで、大学について、具体的なイメージを持つ。				総学	7月	6	○	◎							
	外部講師による進路講話				大学の入試制度やそれに関わる状況を知り、1年生において何をすべきかを学ぶ。				総学・LHR	10月	2	○	◎							
	社会人講話				様々な社会人の方々の話を聞くことで、職業についてはもちろん、様々なもの見方や考え方についての理解を深める。				総学・LHR	10～11月	3	○	◎							
	ポスターセッション				意見をまとめ、発表するという経験を積み重ねて、他者に自分の考えを論理的に伝える方法を学ぶ。				総学	12～1月	5	○	○	◎						
2年	クリティカルシンキングとグループ討論				論理的に思考しそれを他者に伝えたり、他者の意見を客観的に聴くという活動から、自己表現力や論理的思考力を身につける。				総学	5～9月	3	○	○	◎						
	大学模擬授業				学問に対する関心を深めるとともに、高校での学びとの関連を考える。				総学・LHR	9月	2	○	◎							
	外部講師による進路講話				高校生活の後半に入るこの時期に、自分のより高い進路実現に向けて、何をすべきかについて学ぶ。				総学・LHR	10月	2	○	◎							
	研修旅行事前準備				生徒が主体的に計画を立て、見学先への問い合わせや資料収集をすることで、自ら学ぶ意欲を高める。				総学	4～11月	4	○	○	◎						
	研修旅行				研究機関や伝統文化、歴史遺産などを実際に見学することで、自らの見聞を広げ、進路についてより具体的に考えるための機会とする。				総学	12月	6	○	○	◎						
	研修旅行まとめ・発表				計画から実際の研修までをまとめ、全体の場で発表し、まとめ方や発表の仕方を身につける。				総学	12月	3	○	○	◎						
3年	クリティカルシンキングとグループ討論				論理的に思考しそれを他者に伝えたり、他者の意見を客観的に聴くという活動から、自己表現力や論理的思考力を身につける。				総学	5～6月	3	○	○	◎						
	大学模擬授業				学問・研究について自分の具体的な進路と関連づけることで、進路選択の助けとする。				総学・LHR	5月	2	○	◎							
	外部講師による進路講話				進路達成に向けて、3年生としてすべきことを再確認する。				総学・LHR	6月	2	○	◎							
	書籍研究				自らのテーマに沿った新書を読み解き、その分野・内容についての思考を深め、社会を学び、進路達成に向けての意識を高める。				総学	7～10月	8	○	○	◎						
	オープンキャンパス参加				自分の志望校について理解を深め、意識の高揚をはかる。				総学	7～8月	6	○	◎							
										合計時数	64									